

令和6年10月理事会議事録速報

取締役会と同時開催なので、役員会欄に掲載の役員会便りと同一内容です。

開催日時・開催場所・出席者

開催日時		令和6年10月26日 午後4時～	開催場所	ブリックアンドウッドクラブ	
出席者 (敬称略・議長 以外各50音順) リモート参加も 議決権を有す。 委任は理事会の み	取締役兼理事 13名	議 場 田井 (理事長)、木内 (代表取締役・副理事長)、井上、片岡、 草深、小宮山、新田見、村岡、村瀬 リモート 岡崎、生木 欠席 中川 (木内氏に委任)、橋本		以上 9名出席 以上 2名出席 合計 11名出席	
	執行役員兼理事 2名	議 場 野村 リモート 寺島 欠 席 無し		以上 2名出席	
	最高顧問兼理事 1名	議 場 坂 欠 席 無し		以上 1名出席	
	以上理事 16名	委任状、代理を含め合計 15名出席			
	監査役兼監事 2 名	議場 角川 リモート 無し 欠席 高橋		以上 1名出席	
	傍 聴	理事でない執 行役員 4名	議 場 井口、篠本、雪		以上 3名出席
		MFC 管理組合	議 場 出席無し		出席 0名
事務局		議 場 松本、高橋、根上		以上 3名出席	
その他		議 場 熊木今日子 (クラブライフ委)、塩田哲夫、滝本佳苗 (以上、フェ ローシップ委)、北島宏治、村岡早苗 (以上、グリーン委)、加藤 啓輔 (競技委)		以上 6名出席	

理事会は議事を行うための定足数を充足、取締役会も議決を行うための定足数を充足。

議題

理事会

1. 委員会報告

冒頭、理事会に初めて参加された熊木氏（クラブライフ委）と滝本氏（フェロー委）の紹介があった。

- ① 競技委員会（加藤副委員長）
 - ・クラブ選手権を 11/3 を皮切りに開催する。総会が開かれる 11/24 の日に決勝を行なう予定。
- ② クラブライフ委員会（井上委員長）
 - ・直近のクラブライフ委員会での論議について、資料に基づいて報告がなされた。内容としては、今後の主催イベントの開催準備状況（クリスマスカップ&パーティー、新年杯、来年の開場記念祭）について。クリスマスについては、コンペで 100 名、パーティーでプラス 20 名程度の参加を目指すとの方向性が示された。その他、クラブライフ向上の活動等。

- ③ グリーン委員会（北島副委員長）
- ・10月5日に開催されたグリーン委の内容について、議事録に沿って報告がなされた。
 - ・コースの状況に関するグリーン委メンバーからの意見・照会と、それに対する鈴木キーパーの応答を中心に説明がなされた。
 - ・合計3カ所で確認されたスズメバチの巣の駆除については、10/22に外部業者を入れて処置済みであることが報告された。但し、暫くは戻り蜂が居る可能性があるので無闇に近づかないよう注意喚起があった。
 - ・イノシシ被害が拡大しつつあることについての報告があった。
 - ・1番ホールのカーブミラー撤去については、冬場の閑散期に行なう予定。
- ④ 広報委員会（野村委員長）
- ・ニュースレター秋号の編集会議についての報告があった。紙面構成としては「新委員長、抱負を語る」「クラブ選手権」「瀬倉さんインタビュー」「ブルーリーフレストラン」を予定している。
- ⑤ ジュニア委員会（田井理事長）
- ・明日（10/27）にジュニアレッスンを開催する。
 - ・クリスマスカップの際に、子供向けプログラムとしてフェンシングを企画している。予算内に収まる目途がつけば実施する、との方針が示された。
- ⑥ ハンディキャップ委員会（中川委員長欠席にて、特段の報告無し。）
- ⑦ フェローシップ委員会（滝本副委員長）
- ・10月6日に開催されたフェローシップ委の内容について、議事録に沿って報告がなされた。
 - ・直近の取り組みとして、フォーク、マーカのリユースボックスを設置した旨が報告された。

2. 次期委員長変更について

木内副理事長より、来月の任期満了に伴う次期の理事および監事候補者について報告がなされた。

以 上

取締役会

開催日時 令和6年10月26日（土曜日） 午後4時～

開催場所 ブリックアンドウッドクラブ レストラン棟 今回も理事会と同時開催。
リモート参加を可能とし、リモート参加者も出席者として議決権を有する。

議題

議決事項

（1）株式譲渡承認について

→ 普通株2件の譲渡について、協議の結果異議無く了承が議決された。

（2）第38期定時株主総会招集について

第38期定時株主総会を予定通り、令和6年11月24日クラブ競技終了後、会員総会と共にブリックアンドウッドクラブレストランに於いて開催する。

議案は、報告事項①「第38期事業報告」

議決事項①取締役選任の件 取締役候補は、理事会記載の委員長交代に伴う変更等。

②監査役選任の件 監査役候補は、高橋・角川の両氏留任。

（取締役・監査役には当社との「委任契約」を結び社外役員は責任限定契約を結びます。）

(3) 第38期決算見込みについて

本年8月末日で締めた第38期決算は、10月16日から会計監査人による実地監査が開始され現在監査中で、確定は10月26日の予定。損益計算書は現状概ね下記の通り。若干の変更は代取に一任し、大きな変更が無ければこれを以て決算を確定し、株主総会の報告議案とする。

第38期決算見込みの損益計算書概要

税抜 単位 百万円

科目	38期	37期	増減	増減要員等備考	内ブルーリーフ
売上高	402	407	-5		
内コース使用料	192	195	-3	来場者数減少	
食堂売店	94	81	13	ブルーリーフ以外でも+5。単価増加	8
年会費	67	68	-2	請求先670名で前期比-8、S.A.B.が減Cが14増加	
名変料・入会金	21	33	-11	株主会員入会23口前期比-8口	
売上げ原価	42	34	8	ブルーリーフのマーケット仕入れが先行	4
販売費・一般管理費	385	359	+26		13
内人件費	167	166	+1	人材確保の為月給社員2名増加、パート3名減。	
燃料費	14	13	+1	重油8,500千円+474(枢要微増単価8%UP)	
支払手数料	38	30	+8	求人3.6、コンサルティング+3、プロ+07	
消耗品費	14	8	+6	ホテル3マーケット2レストラン2	7
ゴルフ場管理費	43	39	+4	コース36百万+1、外国人管理用1	2
減価償却費	22	24	-2		
営業利益	-25	15	-40		-9
経常利益	-22	15	-37		-9

木内社長より、「営業利益、経常利益ともにマイナスとなっているが、減価償却費と同等の損失額であり、フローとしては回っている。」との補足説明があった。

→ 以上の(2)(3)については、協議の結果、異議無く議決された。

報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

	本年9月	前年	前年比	内平日	前年比	内土日祝	前年比
営業日数(日)	30	29	+1	19	0	11	+1
来場者数合計(人)	2,425	2,619	-194	1,100	-120	1,325	-74
内 M	1,390	1,473	-83	414	-51	976	-32
G	717	816	-99	397	-58	320	-41
V	189	129	+60	160	+61	29	-1
N	129	201	-72	129	-72	0	0
ゴルフ場売上高(万円)	2,480	2,445	35	1,072	-38	1,408	+72-

9月の来場者数 2,425 名で前年比 194 名の減少。(無料来場者が 29 名減少し、有料来場者は 165 名減少) 平日は 120 名減少し、土日祝日は営業日数が 1 日多いにも拘わらず 74 名減少した。下旬の風雨の影響が大きかった。

この結果ゴルフ場売上は、2,480 万円で前年同月比 35 万円の増加となった。有料来場者は 165 名減少にも拘わらず売上が微増なのは、コンペの表彰パーティーでラウンジの売上が 95 万円増えたことに加えレッスンが 60 万円増えたため。

10月25日迄では、来場者数が 1,989 名で、前年同日比 418 名減少(無料来場者数は 74 名減少なので、有料来場者は 344 名減少)。平日は雨の影響により 407 名減少し、土日祝日は営業日数が前年比 1 日少ないが 11 名の減少にとどまった。

ゴルフ場売上は 2,173 万円で、前年同日比 164 万円減少。来場者数 418 名減少に拘わらず売上が微減なのは、平日の来場者は 407 名減ったが、土祝日のゲストとビジターは 18 名増加したため。

(2) 最近月の入退会状況について

9月の入会は、1口1名。(期中目標 30 口の最初の月)

10月25 現在の入会は、2口2名

→木内社長より、「従来以上にメンバー募集に注力して行きたい。年間 30 名ではなく、40~50 名を目標としたい。」との説明があった。

(3) コースの状況について

グリーン委員会の報告に追加点があれば報告。→特に無し。

(4) ブルーリーフの事業について

①ブルーリーフの営業状況について報告

報告者 根上 剛・高橋 裕彦

- ・9月の売上は 220 万円。そのうち 130 万円がマーケットの売上。

- ・10/13 にレセプションを実施。11/1 より営業開始予定。

木内社長より、以下の補足説明があった。

- ・ブルーリーフ全体でフローで黒字化させることが当面の目標。軌道に乗った後は、粗利で年間 3,000 万円の収益を上げることを目標に進んで行きたい。

坂最高顧問より、以下の説明があった。

- ・当クラブと似たコンセプトで運営を手掛けるクラブが増加しつつあり、競争が激しくなっている。

- ・隣地に一定規模の住民が存在することで、ゴルフ場の経営の安定化を図ることが出来る。彼らやその他近隣にお住まいの方も含めて、この一帯をより魅力のある場所に進化させるためにブルーリーフを建設した。これこそが、ブルーリーフの有する意義であることを、是非ご理解いただきたい。

(5) 施設の有効活用について

①特に報告事項があれば報告。→特に無し。

(6) その他 →特に無し。

→上記(1)から(6)について報告を受け、協議の結果了承した。

以 上